

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育訓練施設 くれよんクラブ		
○保護者評価実施期間	令和 7年 11月 1日		～ 令和 8年 2月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	122人	(回答者数) 103人
○従業者評価実施期間	令和 7年 10月 30日		～ 令和 8年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	25人	(回答者数) 24人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 23日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子通園を通して、保護者が生活の中でできる子育て支援を実施していること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者のニーズに合わせ、お子さんの得意なことや好きなことを生かしたスモールステップの支援と、保護者が家庭でできる方法を意識し、実施していること</li> <li>・ペアレント・プログラムの考え方を取り入れ、保護者が子育てに自信や充実感を持つことにつなげる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部研修、外部研修を受講し、スキルアップを図っていること</li> </ul>
2	多職種でチームとなり連携し、包括的なアセスメントを行い、支援を実施していること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他職種連携をこまめに回数多く実施し、情報共有を図って支援していること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コアの職員で連携した場合は、情報の全体共有を意識していること</li> </ul>
3	集団療育は、職員配置数を手厚くし、本人のニーズ(目的)に合わせて集団を形成していること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さんに合わせたタイムリーな支援を意識し、実施していること</li> <li>・個別対応が必要な場合には、加配対応を行い、本人に合ったスモールステップでの対応を行っていること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらかじめ個別の支援が必要な場面と具体的方法を想定しておく</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	きょうだい児や行動特性が強いお子さんの保護者の交流の場の提供が難しいこと	保護者同士やきょうだい児の交流が難しい要因の把握が、不十分であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムリーに具体的ニーズの把握を行うこと</li> <li>・他機関でのきょうだい児交流の事例を把握すること</li> </ul>
2	行動特性が強いお子さんの場合、放課後ディサービスに移行しても、相談に対応していること	保護者が安心して次のステージで相談できる場所や理解者が見つからないこと	相談支援事業所に働きかけ、ステージが変わっても安心して相談できる環境を作ること
3			